

区道等区域証明申請の手引き

目次

1 区道等区域証明の定義	
(1) 区道等区域	
(2) 区道等区域図	
(3) 区道等区域証明	1 P
2 申請書の当事者	1 P・2 P
3 土地所有者の代理人等による申請	2 P
4 実務取扱者について	2 P
5 申請書の作成方法	
(1) 表紙の書き方	3 P
(2) 添付資料について	4 P
6 申請書の取下げ方法	
(1) 取下げ書の書き方	5 P
7 協議不調・不能について	
(1) 協議不調・不能の場合	5 P・6 P
8 区道等区域図の作成方法	
(1) 紙の仕様	
(2) 書き方	6 P
9 承諾書の掲出	
(1) 承諾書の作成方法	7 P
10 区道等区域証明業務の流れ	
(1) 申請書受理から証明書交付まで	8 P
11 各種様式及び別紙	
・第1～3・5号様式	9 P～12 P
・別紙1	13 P
・土地所有者調書	14 P
・記載例〔区域図〕	15 P

(問合せ先) 荒川区役所 防災都市づくり部 土木管理課 台帳係
場所：東京都荒川区荒川2-2-3 北庁舎2F ②番窓口
電話：03(3802)3111 内線2718

荒川区防災都市づくり部土木管理課台帳係への区道等区域証明の申請に当たっては、この手引きをご確認のうえ手続きを進めていただきますよう、ご案内いたします。

1 区道等区域証明の定義

(1) 区道等区域

区道等区域証明の対象とする区域とは、荒川区が管理する次の区域をいい、所有権境を対象とするものではありません。

- ① 道路法第18条により決定した道路の区域
- ② 荒川区管理通路条例により告示された管理通路の区域

(2) 区道等区域図

確認した土地の所在・地番や区域点、区域辺長等を書面に明記したものをいいます。

(3) 区道等区域証明

区道等区域を証明することを記載した書面に、区道等区域図を添付・契印し荒川区長が公印を押した文書のことをいいます。

2 申請の当事者

区道等区域に線で接している土地所有者が区域証明を申請することができます。

なお、次に該当する場合は申請書を受理できませんので、ご注意ください。

- ・申請箇所について係争中である場合。
- ・区道又は管理通路に線で接していない場合。

- ① 土地所有者が個人の場合
土地所有者本人が申請してください。
- ② 土地所有者が法人の場合
 - 法人の代表者が申請してください。ただし、法人が解散又は破産した場合は、その清算人もしくは破産管財人等とします。
 - 官庁及び特殊法人にあっては、法律、定款等または寄附行為の定める者とします。
- ③ 土地所有者が複数の場合
 - 共有者全員または個人で申請してください。
 - 共有者が多数で申請書の表に書ききれない場合は「共有者用用紙」(別紙1)を申請書に添付し、申請者全員で記名・押印・契印してください(申請書には共有者〇〇名別紙のとおりと記載してください)。

3 土地所有者の代理人等による申請

申請から合意までに関する一切の権限について、申請者から委任を受けた代理人は申請者に代わって手続きを行うことができます。

その場合は、「委任状」(第2号様式)を提出してください。

※ その他、権利関係が複雑な場合などは、事前にご相談ください。

4 実務取扱者について

申請者は、土地家屋調査士・測量士・測量士補その他土地の測量、図面作成等の能力を有する者に、証明申請に必要な実務を申請者本人に代わって行わせることができます。

5 申請書の作成方法

(1) 表紙の書き方

第1号様式

(第1号様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日
提出した日付を記入してください。

荒川区長殿

申請者 住所 荒川区 荒川 〇丁目〇〇番〇〇号

氏名 〇〇〇 〇〇〇 (印)
共有の場合は、「別紙のとおり」としてください。

電話 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇

実務取扱者 住所 荒川区 荒川 〇丁目〇〇番〇〇号

氏名 〇〇〇 〇〇〇 (印)
担当者も記入してください。

電話 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇

区道等区域証明申請書

私所有の下記土地と隣接する特別区道等の区域について、区道等区域証明をいただきたく申請します。

記

- 1 土地地番 荒川区 荒川 〇丁目 〇〇〇番 〇〇地先
- 2 場所 荒川区 荒川 〇丁目 〇〇〇番 〇〇号先
- 3 路線名 特別区道・管理通路 第〇〇〇号線
該当するものに〇を付けてください。
- 4 添付図書

(1) 現地案内図	…	1部
(2) 地図(公図)の写し	…	1部
(3) 土地所有者調書	…	1部
(4) 区道等区域図	…	2部
(5) 承諾書	…	1部 (区域図との契印した)

 ※(4)、(5)は立会い後に提出
- 5 申請理由 〇〇〇〇〇〇〇〇のため。

共有者名 (別紙1)

申請書の裏面にノリづけ	土地所有者 住所氏名 (電話)	荒川区 荒川 〇丁目〇〇番〇〇号 〇〇〇 〇〇〇 〇〇-〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	(印)
	土地所有者 住所氏名 (電話)	荒川区 荒川 〇丁目〇〇番〇〇号 〇〇〇 〇〇〇 〇〇-〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	(印)
	土地所有者 住所氏名 (電話)	荒川区 荒川 〇丁目〇〇番〇〇号 〇〇〇 〇〇〇 〇〇-〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	(印)
	土地所有者 住所氏名 (電話)	- -	
	土地所有者 住所氏名 (電話)	- -	

共有者の場合

別紙1を使用してください。
また、第1号様式とノリづけし、第1号様式とに重なるように各土地所有者の印を割り印してください。

(2) 添付書類について

① 現地案内図

- 地図に申請地を赤色で表示してください。

② 地図（公図）写し

- 法務局の内容証明付きの地図（公図）の「原本」、「原本を複写したもの」又は「インターネットから取得したもの」を提出してください（複写した場合、又は、インターネットから取得した場合は「原本と相違ないものである」という文言の記載と、調査者の記名・押印をしてください）。
- 法務局の地図（公図・旧公図）を利用し、新たに地図（公図）写しを作成する場合には、方位・縮尺・法務局名・作成年月日・作成者氏名を記入のうえ作成者の押印をしてください（字界・丁目界等により「切図」になっている地図（公図）については、接合（合成）せずに対照できるよう少し離して見やすく作成してください）。
- いずれの場合も申請地は赤色で着色してください。

③ 土地所有者調書

- 登記事項証明書等又は閉鎖登記簿の記載事項により申請地、向こう3軒両隣及び申請地に隣接する有番の区有地について必要項目を調査し、「土地所有者調書」に記入してください。

④ その他

- 参考資料として旧公図、地積測量図・土地実測図等の資料がある場合には、その資料の写しを添付してください。

6 申請書の取下げ方法

(1) 取下げ書の書き方

第5号様式

(第5号様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日
提出した日付を記入してください。

荒川区長殿

土地所有者 住所 荒川区 荒川 〇丁目〇〇番〇〇号
氏名 〇〇〇 〇〇〇 ㊟

区道等区域証明申請取下げ書

申請書を提出した日付を記入してください。

私が令和〇〇年〇〇月〇〇日に申請した、下記土地と荒川区が管理する道路等との区域証明申請は都合により取下げます。

記

1 土地地番 荒川区 荒川 〇丁目 〇〇〇番 〇〇地先
2 路線名 特別区道・管理通路 第〇〇〇号線

7 協議不調・不能について

(1) 協議不調・不能の場合

- ① 申請受理後、3か月を経過しても申請者側の原因により、現地の立会・協議を行う条件が整わない場合、取り下げられたものとみなして、申請書を返還します。
ただし、申請者もしくは実務取扱者から正当な遅延理由等の明示があった場合はこの限りではありません。
- ② 立会・協議（他の管理者の立会・協議を含む。）を完了した日から、原則として2か月以内に区道等区域図及び承諾書（以下「区域図等」という。）の提出がない

ときは、取り下げられたものとみなして申請書を返還します。

ただし、申請者から区域図等の提出が立会い協議完了日から2か月を超える正当な理由及び区域図等提出の予定日の明示があった場合は、この限りではありません。

- ③ 申請後、売買・交換等により所有権が移転したときは、協議不能事案として申請書を返還します。

8 区道等区域図の作成方法

(1) 紙の仕様

- 紙の大きさは **A3サイズ** を使用してください。
- 紙の質は上質紙を使用してください。

(2) 書き方

区道等区域図については **〔記載例〕** を参照し、下記の事項に注意して、作成をお願いします。

〔記載例〕 の各欄に記載のある寸法は、目安です。見やすい、わかり易い図面作成にご協力ください。

- ① 表題（中上）
 - ・ 代表地番を記載のうえ、複数地番がある場合は、代表地番に続けて「ほか地先」と記載してください。
 - ・ 縮尺は、原則として **1/250** としてください。
- ② 作成者欄（左下）
 - ・ 資格を有する場合は資格登録番号を記入してください。
 - ・ 押印は申請書における実務取扱者欄の押印と一致させてください。
 - ・ 測量年月日は立会日以降の日付を記入してください。
- ③ 座標欄（右中）
- ④ 区域図（中中）
 - ・ 区域図の位置取りは、北を上向きにし、方位は北方向に矢印等に表示してください。
 - ・ 辺長は、小数点以下3位を切り捨てて、表示してください。

9 承諾書の提出

(1) 承諾書の作成方法

第3号様式

(第3号様式)

令和〇〇年〇〇月〇〇日
提出した日付を記入してください。

荒川区長殿

土地所有者 住所 荒川区 荒川 〇丁目〇〇番〇〇号
氏名 〇〇 〇〇 (印)

承 諾 書

下記、特別区道等の区域については、別添図面のとおり異議なく承諾いたします。

記

1 土地地番 荒川区 荒川 〇丁目 〇〇〇番 〇〇地先
2 路線名 (特別区道)・管理通路 第〇〇〇号線
3 立会日 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日
立会した日付を記入してください。

承諾書に区道等区域図を添付し、承諾者の印鑑で契印を押してください。

承諾書 裏面

印

区道等区域図		縮尺
土地所在 地番	荒川区荒川二丁目134番2地先	1/250

区道等区域図

座標値一覧表			
測点名	X座標	Y座標	備考
P1	-99999.999	-99999.999	区画角点
P2	-99999.999	-99999.999	区画角点
S1	-99999.999	-99999.999	区画角点
S2	-99999.999	-99999.999	管理点
S3	-99999.999	-99999.999	管理点
S4	-99999.999	-99999.999	区画角点
S5	-99999.999	-99999.999	L形角点
T1	-99999.999	-99999.999	区
T2	-99999.999	-99999.999	区

作成	〇〇〇〇〇〇	(印)
成	〇〇〇〇〇〇	
番	資格登録番号 〇〇〇〇〇〇〇〇	
測量年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	

凡	○ Pn	境界点
	○ Sn	引張点
	○ Tn	標識点
	〇m〇〇	区域辺長

10 区道等区域証明業務の流れ

申請書受理から証明書交付まで、一般的に下記の順番①～⑫で行われます。

- ① 区が申請書を受理する。
↓
- ② 区が関係資料等を調査し、収集したものを提供する。
↓
- ③ 実務取扱者が現地測量を行う。
↓
- ④ 実務取扱者が検討図を作成する。
↓
- ⑤ 区と実務取扱者が検討図をもとに打合せを行う。
↓
- ⑥ 現地立会を行う。(区、申請者、実務取扱者)
↓
- ⑦ 実務取扱者が区域図案(下図)を作成する。
↓
- ⑧ 区が下図をチェックする。その後、修正等があれば、チェックを繰り返す。
↓
- ⑨ 実務取扱者が申請者から承諾書に署名・押印をいただき、区域図を添付し契印する。
↓
- ⑩ 実務取扱者が区道等区域図及び承諾書を区に提出する。
↓
- ⑪ 区が区道等区域証明書についての決済(決定手続き)を行う。
↓
- ⑫ 区が決済後、区道等区域証明書を実務取扱者に引き渡す(交付する)。

一般的な証明業務期間(受理から証明書交付までの期間)は概ね3か月です。しかし、境界確定業務や他の区域証明業務件数が多い時期や実務取扱者の作業時間等でその期間が変動する場合があります。予め、ご了承ください。

11 各種様式及び別紙

第1～3・5号様式(9P～12P)、別紙1(13P)、土地所有者調書(14P)、記載例〔区域図〕(15P)

荒川区長 殿

申請者 住所
氏名 ⑩
電話 ()
実務取扱者 住所
氏名 ⑩
電話 ()

区道等区域証明申請書

私所有の下記土地と隣接する特別区道等の区域について、区道等区域証明をいただきたく申請します。

記

- | | | | | | |
|---|------|------------------|----|----|---------------|
| 1 | 土地地番 | 荒川区 | 丁目 | 番 | 地先 |
| 2 | 場所 | 荒川区 | 丁目 | 番 | 号先 |
| 3 | 路線名 | 特別区道・管理通路 | | | 号線 |
| 4 | 添付図書 | (1) 現地案内図 | … | 1部 | |
| | | (2) 地図(公図)の写し | … | 1部 | |
| | | (3) 土地所有者調書 | … | 1部 | |
| | | (4) 区道等区域図 | … | 2部 | |
| | | (5) 承諾書 | … | 1部 | (区域図との契印したもの) |
| | | ※(4)、(5)は立会い後に提出 | | | |
| 5 | 申請理由 | | | | |

(第2号様式)

年 月 日

荒川区長 殿

委任者 住所

氏名

㊞

委任状

私は、下記の者を代理人と定め、下記の権限を委任します。

記

(代理人)

住所

氏名

(委任事項)

私所有の土地と隣接する特別区道等の区域の証明に係る申請及び現地立会い並びに区域承認に関する一切の権限

(土地所在等)

1 土地地番 荒川区 丁目 番 地先

2 場所 荒川区 丁目 番 号先

3 路線名 特別区道・管理通路 号線

(第3号様式)

年 月 日

荒川区長 殿

土地所有者 住 所

氏 名 ⑩

承 諾 書

下記、特別区道等の区域については、別添図面のとおり異議なく承諾いたします。

記

1 土地地番 荒川区 丁目 番 地先

2 路線名 特別区道・管理通路 号線

3 立会日 年 月 日

(第5号様式)

年 月 日

荒川区長 殿

土地所有者 住 所

氏 名

㊞

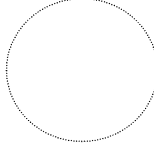
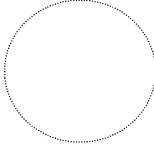
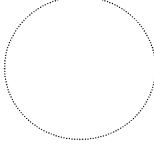
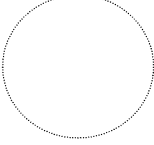
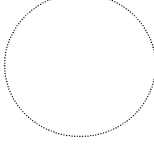
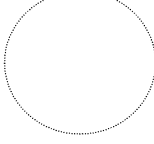

区道等区域証明申請取下げ書

私が 年 月 日に申請した、下記土地と荒川区が管理する道路等との区域証明申請は都合により取下げます。

記

1 土地地番 荒川区 丁目 番 地先

2 路線名 特別区道・管理通路 号線

の	土地所有者 住所 氏名 (電話)	—	—	
り	土地所有者 住所 氏名 (電話)	—	—	
し	土地所有者 住所 氏名 (電話)	—	—	
ろ	土地所有者 住所 氏名 (電話)	—	—	
申請書の	土地所有者 住所 氏名 (電話)	—	—	
裏面に	土地所有者 住所 氏名 (電話)	—	—	
ノリづけ	土地所有者 住所 氏名 (電話)	—	—	

土地所有者調書

土地所有者記入欄（申請者から順に記入してください。）

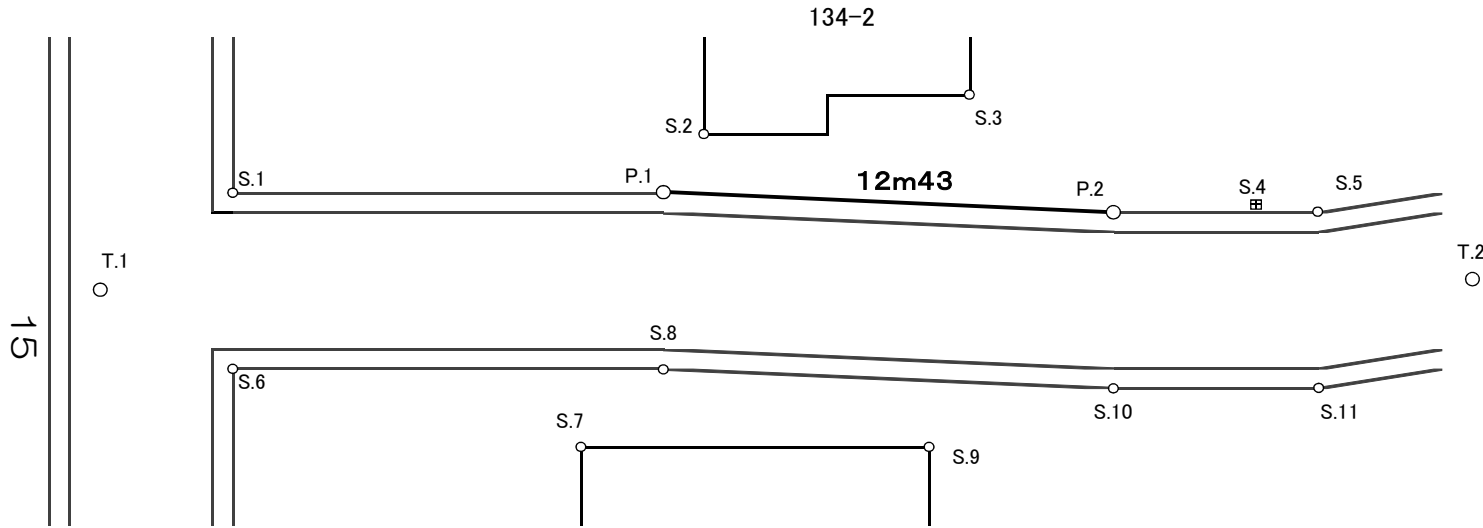
土地所在	地番	地目	地積	登記年月日	所有者名	土地登記簿等の住所
						現住所
荒川区			m ²	年月日		
荒川区			m ²	年月日		
荒川区			m ²	年月日		
荒川区			m ²	年月日		
荒川区			m ²	年月日		
荒川区			m ²	年月日		
荒川区			m ²	年月日		
荒川区			m ²	年月日		
荒川区			m ²	年月日		
荒川区			m ²	年月日		

区 道 等 区 域 図		縮 尺
土地所在 地 番	荒川区荒川二丁目134番2 地先	$\frac{1}{250}$

記 載 例



荒川二丁目



座 標 値 一 覧 表

測 点 名	X 座 標	Y 座 標	備 考
P.1	-99999.999	-99999.999	区金属標
P.2	-99999.999	-99999.999	区金属標
S.1	-99999.999	-99999.999	区石標
S.2	-99999.999	-99999.999	家屋角
S.3	-99999.999	-99999.999	家屋角
S.4	-99999.999	-99999.999	民石標
S.5	-99999.999	-99999.999	L形側溝角
T.1	-99999.999	-99999.999	鋺
T.2	-99999.999	-99999.999	鋺

作 成 者	(印)	
	資格登録番号	
測量年月日	令和	年 月 日

